

庄原市立山内小学校 第6学年 図画工作科学習指導案

題材名：山内 ^{わら} 藁ンダーランド

日時 平成30年11月15日(木) 2校時(9:45~10:30)
 場所 6年教室
 学年 第6学年(男子5名, 女子5名 計10名)

題材について

本題材は、小学校学習指導要領図画工作(平成29年)第5学年及び第6学年の内容 A表現を受け、特に(2)「イ 絵や立体, 工作に表す活動を通して、表現方法に応じて材料や用具を活用するとともに、前学年までの材料や用具などについての経験や技能を総合的に生かしたり、表現に適した方法などを組み合わせたりするなどして、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すこと。」に重点をおいて設定した。この事項は、「技能」に関する事項のうち、絵や立体, 工作に表す活動を通して育成する「技能」について示している。

この題材では、藁という素材を使って、児童が自分なりにイメージした「ふるさと山内」を表現する。ここでいう「ふるさと山内」とは、「赤糸威鎧(あかいとおどしよるい)」、「甲山城の石垣」、「山内原爆慰霊祭の森」等、児童が山内のよさとして自慢のように思っていることの数々である。そして、1番表現したい山内を選び、「赤糸威鎧の模様の並んだ線の美しさ」「甲山城の石垣は様々な形の石が集まって力強い土台を作っている」等のように自分の思いを入れて、テーマに決定したものである。つまり、本題材は、児童が自らテーマを設定して表現することができ、また、表したい思いを基に、どんな形で表現しどのような表現方法に選んだらいいかを工夫することができる題材である。これらの活動を通して、身近な生活の中にあるものが表現の材料になり得ることや、その材料に様々な表現の仕方が隠されていることに気付かせたい。さらに、藁を用いることで生まれる多様な表現方法を活用して、テーマの表し方を工夫したりできると考える。

藁は、はさみで簡単に切り取ったり手で裂いたりできる。また、丸めたり組んだりすることもできる。部位によって、固く直線的に用いたり柔らかく曲線的に用いたりすることもでき、多様な使い方が可能な材料である。既に存在している藁の工芸品は、むしろや俵や藁ぐつなどのように昔からの伝承品として存在している。「山内 藁ンダーランド」の学習活動で、児童に試行錯誤させながら藁を扱わせることを通して、自分のイメージしたテーマの創作活動に発展させることができると考える。

児童の実態について

事前に行った児童実態調査では、次のような実態が明らかとなった。調査項目は次の通りである。

(10人中)

質問項目	よくあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
(1) 図画工作科の時間が好きだ。	10人	0人	0人	0人
(2) 自分がつくりたいものをイメージすることができる。	8人	2人	0人	0人
(3) 自分がイメージしたものをつくることができる。	8人	2人	0人	0人

本学級の児童は、創作活動や鑑賞をとても楽しみにしている。図画工作科は好きだと感じているが自分の作品に自信をもつことができず、自分なりの自由な発想から思い付くまま自由に表現しようとする消極的になる児童もいる。そこで、完成した作品を鑑賞し合うだけでなく、製作途中、作品を交流し合い評価できるような場の設定を工夫している。その結果、児童は出来栄だけでなく製作すること自体の価値のよさを少しずつ感じるできつつあり、自分の創作活動についての肯定的評価が少しずつ高くなっているように思う。

児童にとって、総合的な学習の時間「米作り」(5年)「大花田植え」(6年)等を通して、稲は身近な植物である。5年生の時には、稲を束ねる際、「そろえる・切る・ねじる」ことを経験している。しかし、それ以外の使い方や技法はほとんど知らない。そのため、児童は藁を材料として扱いにくいと感じていると推測できる。

指導にあたって

指導にあたって留意することは、大会テーマに沿って以下のように示す。

心動かし

事前に、藁の知識や先人の藁の活用法と技術等について知っていることを交流し、「のびのびタイム」で、児童自身が藁の触感を楽しみながら十分に遊んだり技法を真似したり発見したりする創作活動を仕組む。これらの活動を通して、心惹かれ、自分の決めたテーマにより迫る表現にするため、応用してみたい技法や藁の部位・形を選んだり、試しながら新しく見付けたりしてアイデアスケッチに書き込ませる。十分に藁に触れ活動することは、新しい表現方法を見付けたいという意欲につながると考える。

また、児童が自信をもって自分の思いを表現できるようにするために、児童が新しく発見した技法を蓄積する。具体的には、新しい技法を「自分の気持ちを伝える♡6年の技法 図画工作科編」に書き込んで、内容を増やしていく。そうすることは、習得した技法が増えるだけでなく新たな表現の工夫にも発展し作品の創作意欲を高め、自信をもって自分の思いを表現していくきっかけになると考える。

対話し

児童に藁のよさを発見させるために、「のびのびタイム」で藁に十分に触れ藁との対話が行われるようにする。そうすれば、繊維としてのやわらかさや硬さ・植物の形としての美しさ・それぞれの部位の色の面白さ等、藁のよさが発見でき、自分の主題を表現する技法を増やすことにつながる。対話が深まり気付いたことは、「表現メモ」として残しておく。

自分が表したい思いをどう表現していくか明確にするために、友人と対話しやすいように場の設定を工夫する。友人との対話は、自分の発想のままに表現ができないと思えたときの参考になったり、新しい創作活動につながったりすると考える。知識として伝えるだけでなく、擬態語や擬音語等（サクサク・もじゃっ・手のひらに引っかかる）の言葉で表して伝え合えば、表現のきっかけをつかむことにつながる。

価値を知る

「藁を使ったらこんなにも多様な表現ができる」という価値に気付かせるために、自分や友人の作品に触れさせ、日頃から鑑賞活動の充実を図れば、鑑賞活動と表現活動が絡み合い、作品への思いも深まり表現も広がりをもたせることになるはずである。さらには、図画工作科におけるものの見方等の自分自身の成長に気付く、自分なりの考えを豊かに表現する力を伸ばすことにつながる。

題材の目標と評価規準

<題材の目標>

- (ア) 自信をもって、楽しみながら自分の思いを表現することができる。
- (イ) 表したい思いを基に、「ふるさと山内」の表現を豊かに発想することができる。
- (ウ) 表したい思いをどう表現していくか考え、表現方法を試しながら工夫して創作することができる。
- (エ) 友人や自分の作品について交流し、思いがどのように表されているか気付くことができる。

<評価規準>

ア 造形への関心・意欲・態度	イ 発想や構想の能力	ウ 創造的な技能	エ 鑑賞の能力
藁の多様な使い方に気づき、楽しみながら技法を試し、自信をもって作品づくりに取り組もうとしている。	自分が表したい思いを基に、藁を使って「ふるさと山内」のイメージを豊かに発想している。	自分や友人が発見した新しい技法を選びさらに工夫して、自分の思いを藁で表現している。	自分や友人の作品について交流し、自分の思いが藁を用いてどのように表現されているかに気付いている。

指導と評価の計画

(全5時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				評 価 規 準	評価方法
		関	発	技	鑑		
一	○ 見本を見たり、藁についての技法を試したりしてアイデアスケッチを作る。(1時間)	○				ア 藁を丸める、いろいろに切る等、技法を自由に試しながら藁の多様な使い方に気づき、アイデアスケッチにまとめ、意欲的に取り組もうとしている。	行動観察 発言

二	○ 作品づくりに生かせるように藁を加工する。(1時間)		○	ウ 自分や友人が発見した新しい技法をさらに工夫し自分の思いに合う表現ができるように、たいて柔軟かくする、葉をむいていく等、藁を加工し創作しようとしている。	行動観察 発言
三	○ 技法を工夫して「ふるさと 山内」を表現する。(2時間)《本時3/5》		○ ◎	イ アイディアスケッチを基にして、自分達で見つけた藁の技法を用いてさらに工夫して、自分なりの「ふるさと山内」を発想している。 ウ 「力強い甲山城の石垣」「原爆慰霊祭の平和の祈り」「赤糸威鎧の繊細な模様」等、「ふるさと 山内」の主題に合うように藁の使い方を工夫し、自分の思いを作品に表そうとしている。	行動観察 発言 行動観察 発言
四	○ 鑑賞し「自分の気持ちを伝える♡6年の技法 図画工作科編」を追加する。(1時間)		○	エ 自分や友人の作品について交流し作品のよいところが分かり、主題が藁を用いてどのように表現されているか気付いている。	発言 スケッチブック

本時の学習

(1) 本時の目標

藁の特性を生かしながら、自分なりの「ふるさと山内」を工夫して表現することができる。

(2) 本時の評価規準

自分なりの「ふるさと 山内」のテーマに合うように藁の使い方を工夫し、自分の思いを作品に表そうとしている。

(発想や構想の能力)

「力強い甲山城の石垣」「原爆慰霊祭の平和の祈り」「赤糸威鎧の繊細な模様」等、「ふるさと 山内」の主題に合うように藁の使い方を工夫し、自分の思いを作品に表そうとしている。

(創造的な技能)

(3) 準備物

藁 (全形・穂・根元・細切れ・朶が残ったもの・葉がまだ緑っぽいものなどに分類)、はさみ (大・小)、水濡れタオル、カッターナイフ、ミニ裁断機、砧 (きぬた)、筵 (むしろ)、ござ、藁箒 (わらぼうき) 木製ローラー 木工用ボンド、のり、一斗升、手箕 (てみ)、裁縫箱

[製作途中、どうしても児童が必要であると感じた場合に使用できるように準備しておく]

麻紐、藁製剣山、和古布、誘引用針金、ペンチ、透明養生テープ、枝、薪、はで木、篠竹、画用紙

(4) 本時の展開

学習活動	指導上の留意事項 発問等 ◆：支援を必要とする児童への手立て	評価規準 [評価方法]
1 導入		
○ 選んだ藁や技法で、自分の思いが表せるかどうか試す。	・試してみることで、自分の思いに近づけたかどうかを見極めさせ、自分のテーマを表す活動への意欲を高める。	
2 課題の設定		
○ 本時の授業の流れを確認する。	・「授業計画」を見ながら、流れを確認する。	
○ 本時の課題を確認する。	自分なりの「ふるさと山内」を工夫して表現しよう	
	選んだ藁や技法で自分の主題が伝えられるか試したり友人と交流したりしながら創作しよう。	

3 活動		
○ アイディアスケッチや作品づくりのためのメモを基にして創作する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに創作活動に入れるように、主材料は各自の机上に準備しておく。 ・藁ぼこりを防ぐために、藁は筵（むしろ）の上に置き、前日霧吹きでわずかに湿めり気を与えておく。ぬれタオルも用意する。藁を曲げやすく柔らかく槌でたたく時は、ごぞの上で行うようにする。 ・山内に伝わる藁工芸の雰囲気を出すために、材料を手箕・一斗升・あけびのつるや竹製の籠など稲作用小道具に入れる。 ・設計図やメモだけに頼りがちな児童や創作が進まない児童は友人と技法の交流活動が行えるように、机は円形に配置し用具・材料は自由に取りに行けるようにする。 ・児童がミニ裁断機で藁を切る時は、安全のために必ず指導者に声をかけて行わせる。 <p>◆迷ってしまい表現方法が決められず、活動に入れない児童には、「自分の気持ちを伝える♡6年の技法 図画工作編」を見せて参考にさせる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>【児童に見つけさせたい表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・藁を切ったりまとめたりして、タイルやブロックのように並べる。 ・編んだり束ねたりしたものを組み合わせた少し硬い立体にする。 ・空気を含むようにやわらかく丸める。 </div>	<p>自分なりの「ふるさと 山内」の主題に合うように藁の使い方を工夫し、自分の思いを作品に表そうとしている。〔行動観察、発言〕</p> <p>「力強い甲山城の石垣」「原爆慰霊祭の平和の祈り」「赤糸威鎧の繊細な模様」等、「ふるさと 山内」の主題に合うように藁の使い方を工夫し、自分の思いを作品に表そうとしている。〔行動観察、発言〕</p>
4 まとめ		
○ 本時の学習の活動の価値に気付く。	<ul style="list-style-type: none"> ・次時への足掛かりとして、「藁ンダー長」を中心に、作品の主題を表現するためにどんな表現方法を選び工夫されているか短時間でまとめる。「自分の気持ちを伝える♡6年の技法 図画工作編」に付け加えるものがあれば、決定する。 	
5 振り返り		
○ 本時の学習活動を振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマを表すための工夫を発見するために、学習の感想や気付いたことを交流する。 	
<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px;"> <p>【児童の振り返りの例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・～さんの藁の使い方は初めて見ました。藁が柔らかいと知ってびっくりしました。山内の春のやわらかい草花のイメージがよく表せていると思います。 ・～さんの作品を見て、力強い甲山城の感じが伝わります。藁は束にして太く硬くできるし意外にも強いイメージが表現できることが分かりました。 ・～さんは、山内の自然を表すために藁を折ってギザギザにしたりくるくるカールさせたりしています。楽しそうなやり方なので、私もやってみたいです。 </div>		

板書計画

自分の気持ちを伝える♡6年の技
図画工作科編

山内 藁ンダーランド

課 自分なりのふるさと山内を表現しよう

授業計画

- 1 お試し I
- 2 設計図
- 3 加工
- 4 表現
- 5 鑑賞

自分の思いを表現するために

《用具》

・ 砧 (きぬた) やわらかく

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

《技法》

・ 結ぶ

・ そろえる

・ 丸める

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

・

山内 藁ンダーランド

筵 やわらか加工

ござ 藁材料/バイキング

場の設定

教室

黒板

筵 砧

ネーム
用机
片付け

細 束 根 縄
切 元

長 穂 細 葉
い 付 切
藁 藁

児童席

ミニ裁断機

児童机

新聞紙
手作り
ごみ入れ